

ブロッキングの**新手法!**

# 加熱転写装置

《 TM-201 Thermal-Blotting Machine 》

| Feature |

## 製品特徴

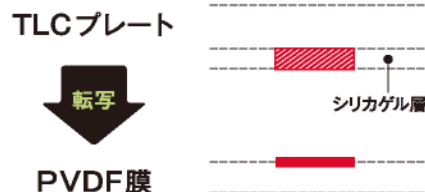
- ① 様々な組織片に含まれる脂溶性物質をPVDF膜に転写・回収できます
- ② TLCプレートとの組合せで、脂質等の定量解析が可能です
- ③ PVDF膜上で濃縮されるため、低濃度の成分解析にも有効です
- ④ 回収率が高く極微量の試料でも分析が可能です
- ⑤ 転写後、PVDF膜上で様々な染色や解析が可能になります
- ⑥ PVDF膜上の転写物(脂質等)をMALDI-TOF MSで分析できます
- ⑦ 装置の操作は簡単です



## ≫≫ 原理 | Principle

転写有機溶媒液に浸した試料(動物・植物組織の切片、分離済 TLCプレート等)上にPVDF膜を載せ、上方から加熱・加圧すると、脂溶性の物質は揮発する転写溶媒と共に膜に移動します。また、試料中に含まれる転写物はPVDF膜で濃縮されるので、より鮮明なスポット(バンド)として検出できます。(Far-Eastern Blot 法)

< TLCプレートの例 >



## ≫≫ 対象試料 (脂溶性化合物など) | Target

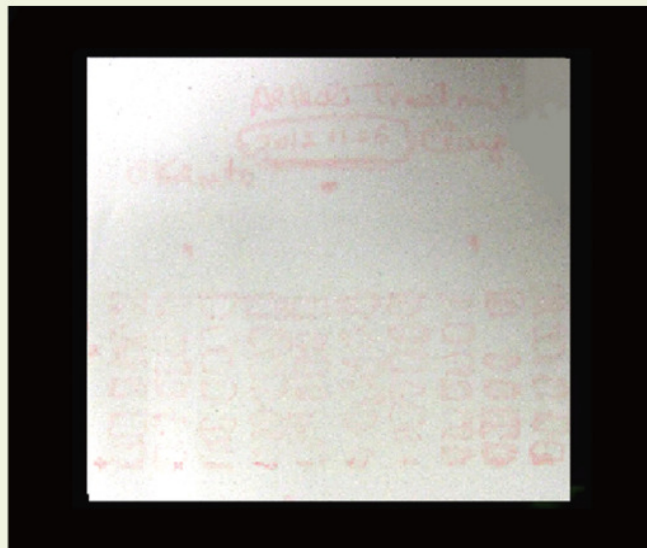
・脂質、リン脂質、糖脂質 他 ・天然の有機化合物、環境物質 他

## ≫≫ 転写方法 | Method

- ① 転写試料(薄い切片状の組織片、展開済み TLC等)を用意する
- ② 試料を転写有機溶媒に浸漬後、PVDF膜、テフロン膜、ガラスろ紙を載せる
- ③ 装置の転写部にセットする
- ④ 装置に予め転写時間、温度、を入力しておき、スタートボタンを押す

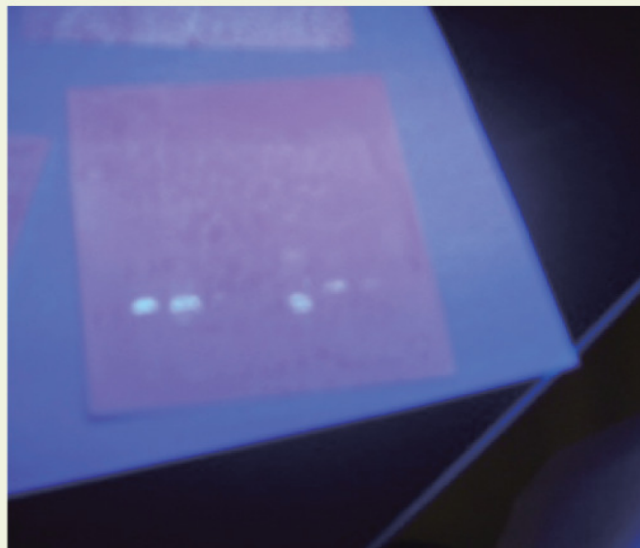
## ▶▶▶ 転写例 (TLCの場合) | Example

試料 : Lipid、転写時間 : 30 秒、転写圧 : 6.4Kg/Plate、転写膜 : PVDFメンブレン  
転写バッファー : Isopropanol・CaCl<sub>2</sub>・Methanol 溶液



### 転写後のPVDF膜

TLC 上の試料位置を示す色鉛筆の印も膜に移動している



### PVDF膜のUV観察

UVで観察された転写後のLipidバンド

## 加熱転写装置《TM-201》仕様

ステージサイズ	100mm × 100mm
試料加熱範囲	150-199℃ (1℃毎可変)
温度精度	±2.0℃ (at 180℃)
転写時荷重	6.4 kg (メーカー変更可能)
荷重精度	±0.1 kg (6.4 kg時)
転写時間	1-180 sec
装置使用環境温度	0-40℃
装置外形 (W×L×H)	200 mm × 270 mm × 300 mm
装置重量	12 kg
電源	100V、600W
価格	90万円

※ 仕様及び外観は予告なく変更する場合があります。

### information

本装置は、瀧 孝雄先生 (前 大塚製薬 (株) 基盤技術研究所) の技術的なご指導・ご支援を受けて製造されています。

装置は Far-Eastern Blot 法用の転写装置として十分な性能を有していることをご評価いただきました。

発売元

株式会社バイオエクス

<http://www.bio-x.co.jp>

本社 :

〒610-0121 京都府城陽市寺田今堀 121-17

☎ 0774-27-2422 ☎ 0774-54-3561 ✉ [info@bio-x.co.jp](mailto:info@bio-x.co.jp)